

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター令和6年度業務実績評価（案）に対する分科会委員意見とその対応（案）

項目		委員意見	対応（案）
4	高齢者糖尿病医療 事務局評定：B（法人B）	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案でも良いが、糖尿病看護外来年間延べ患者数が目標を上回っていることを評価して、A評価でもよいのではないか。 ※糖尿病看護外来年間延べ患者数 令和6年度目標値 1,000人 実績 1,361人 ・年度計画にある目標を大幅に上回るなどの要素があれば今後A評価にする余地もあるのではないか。今年度はB評価が妥当である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病看護外来年間延べ患者数は目標を上回っており、糖尿病の専門医療、合併症・フレイル予防の推進等は評価できるものの、概ね年度計画通りの実施であり、認知症予防の取組など更なる取組が期待されることからB評価が適切と考える。
6	救急医療 事務局評定：B（法人A）	<ul style="list-style-type: none"> ・都としてB評価にすることに異論はない。急性大動脈スーパーネットワークなど、困難な患者を受け入れる体制を組んでいることは評価できる。 ・体制強化に取り組んでいるものの、件数が増えているわけではなく、これからの成果に期待したいため、都としてのB評価に異論はない。センターが得意とする分野（高齢者の受入れ、診療科別）で、手厚く救急患者を受け入れ、地域に貢献することもあってよいのではないか。 ・都としてB評価にすることに異論はない。救急患者断り率（32.9%）は高いため、改善は課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外科系診療科等によるオンコール待機の実施による時間外の手術適応等の重症患者の受入促進など救急医療体制の強化に取り組んだことは評価できるものの、救急患者受入数及び救急患者の断り率は引き続き改善が求められることから、B評価が適切と考える。 ・全体評価における「改善・充実を求める事項」として、救急患者断り率の改善が求められる旨を記載する。
7	地域連携の推進 事務局評定：A（法人B）	<ul style="list-style-type: none"> ・都の政策としても重要な取組と評価していると受け止めており、都としてのA評価で異論はない。 ・血管病医療や認知症医療がS評価であり、これらの取組と地域連携は切り離せない関係であるため、都としてA評価が妥当ではないか。 ・紹介率も、逆紹介率も素晴らしく、地域連携の成果が如実に出ており評価できるため、都としてのA評価で異論はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の自己評価としては、病院全体としての地域連携の底上げが必要という認識でB評価としているものの、都としては、主に認知症抗体医薬の継続投与について、地域連携の強化を行ったことなどを評価し、A評価が適切と考える。
14	研究成果の社会への還元 事務局評定：B（法人B）	<ul style="list-style-type: none"> ・B評価に異論はないが、評価指標について研究成果の社会への還元というよりも社会への発信という面が強く、本項目では社会実装が重要と考える。そのため、企業との共同研究の実施件数を測定できると良い。また、産学連携コーディネーターの取組は評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体評価における「改善・充実を求める事項」として、外部研究機関や企業等の共同研究開発などをさらに進め、研究成果の一層の還元が求められる旨を記載する。 ・また、評価案に同趣旨を記載する。

16	認知症との共生・予防の取組 事務局評定：S（法人A）	<ul style="list-style-type: none"> ・都としてS評価にすることに異論はない。 ・認知症未来社会創造センター（IRIDE）の取組は評価できる。 ・特に、IRIDEの農園運営の取組について評価できる。 ・認知症支援推進センターにおける島しょ支援の取組も評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症支援推進センターにおける島しょ支援や認知症抗体医薬に係る体制整備の取組、認知症未来社会創造センター（IRIDE）における研究を通じて、東京都の認知症施策に貢献したことを評価し、S評価が適切と考える。
20	収入の確保・コスト管理体制の強化 事務局評定：B（法人B）	<ul style="list-style-type: none"> ・B評価に異論はないが、研究外部資金獲得や産学連携コーディネーターの配置については評価できる。今後の更なる成果に期待したい。 ・都としてB評価にすることに異論はない。経営改善に向け、病床稼働率の改善はもちろんのこと、入院単価の引き上げや病院執行部によるきめ細かな指示など、工夫の余地があると思うので、引き続き取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体評価における「改善・充実を求める事項」として、医療経営を取り巻く環境が厳しい中でも、収入確保に向けた一層の努力等により、更なる収支改善が求められる旨を記載する。 ・また、評価案に同趣旨を記載する。